

A close-up illustration of a blonde anime character with blue eyes. A single tear is visible on her cheek. The background is dark and blurry, suggesting an intimate or dramatic scene.

「ヴィクトリアス敗北鹵獲  
からの屈辱の交尾結合種付け」



ヴィクトリアス敗北鹵獲後とある深海棲艦の巣の奥にて——  
抵抗もむなしく艤装を奪われ着衣を剥がされたあと引きずるようにして連れてこられた異様な空間で  
裸にむかれ股を天井に向けるように高く上げた姿勢で数多の触手に拘束されたヴィクトリアスと——

その上に奇妙な姿勢で覆いかぶさる一匹の深海棲艦の姿がそこにはあった  
その股間にはぬらぬらと光るグロテスクな性器のようなものがぶらさがっている



深海棲艦は艦娘の鹵獲に成功するとその身体を使って繁殖を行う可能性が示唆されているが

今がまさに彼女の身体を使ってその繁殖のための交尾が行われようとしている瞬間なのであった  
所在不明の敵性拠点の最奥部でこの状況となってしまうのはもはや救助は絶望的である  
彼女はただ為す術なく犯されるのを待つことしかできない……。



自らの置かれた状況を理解したヴィ○トリアスは一縷の望みをかけ救助隊の到着まで  
何があろうとも必ず耐え抜きおのれを保とうと決意した

「はっ そんな粗末なモノではこの栄えある英国艦娘 ヴィ○トリアスは墮とせんぞ?」  
グロテスクな形状でありながらその巨軀に対してはいささか小さく思える  
生殖器に少しだけ安堵した彼女はそう強がってみせる



しかし彼女はすぐに自らの見立ての甘さを思い知ることになる

何段にもわたってむきだされた生殖器ははじめの数倍の長さの長さの長さまで伸び、  
鈍い肌色とは対照的に鮮やかな色をたたえぬめりとした粘液とおぞましい  
突起にまみれたソレを認めた彼女はおののき表情を曇らせる



次の瞬間その膨れ上がった肉の棒が彼女の裂け目の奥深くまで  
暴力的に挿入された

一瞬にして秘所を貫かれ何が起こったのかを理解する前に衝撃と快楽が全身をほとばしる  
カラダはビクビクと震え体液をまき散らしながらも屈辱の交尾行動の始まりを受け入れる

始めの暴力的な挿入が嘘のようにそのあとのピストン運動はしかし  
雌側の身体を優しく気遣うような一定のリズムで行われた

びっしりと並んだ大量の突起に密壺全体をなぞられ探り当てられた弱点を何度も突かれ  
受精効率を上げるための催淫笑気効果のある深海棲艦の体液を塗りこまれるとそれまでの不安や恐怖の  
感情がすっかり消え去り快樂と多幸感が彼女の頭を真っ白に埋めつくしていく





すでに全身をかけたぐるぐる快楽は艦娘の許容限界をむかえているが効率化された  
深海棲艦の種付け工程はまだ終わらない

それまで彼女を押さえつけていたものとは見た目の異なる非常に細長い針状の突起とこれもまた怪しいほど  
鮮やかに光る液体を湛えた触手が彼女の頭部に近づきなにやら狙いを定めるような動きを見せている



その動きが止まったひと呼吸の後、目に見えないほど細い針が彼女の頭部にすばやく深く侵入し、内包していた桃色の媚薬液が脳に直接注入された。

繁殖補助に特化した深海棲艦の体内で生成濃縮された薬液の効力は絶大で、すでにくみ伏せられ意識も屈伏した生身の艦娘では到底それに抗うことなど叶わず、脳が焼き切れんばかりの快楽に身を震わせることしかできない。



そしてはじまる最終段階の種付け工程

それまでで最も深い挿入によるピストン運動、  
亀頭の先端についた突起が子宮口を叩き

それと同時に睾丸状の物体についている  
小さな口のような器官が肛門に吸い付くように刺激を行う  
性感帯という性感帯を際限なく刺激され強制的に身体を受精態勢へ持ち込まれる  
硬く締まった深海棲艦の睾丸が『その時』が近いことを知らせる

怪物が咆哮を上げると人のそれよりも灰色に濁った粘液が艦娘の子宮に直接注入される

この粘液中に含まれる精莢が艦娘の卵巣に入り込み保存されている卵胞に深海棲艦の精子を寄生受精させることで一度に大量の繁殖を可能にする

この段階になると交尾活動を行われた艦娘の理性は完全に溶解落ち怪物たちの苗床になり下がる

受精した卵は数週間で成長し産み出されるが種付け交尾はそのあとも際限なく行われ艦娘の卵巣がつかいものにならなくなるまで何度も繰り返して孕まされ続ける

すでに従順な母体苗床へと堕ちた彼女はもはや触手の拘束がなくとも自ら腰を高く上げ深海棲艦の肉棒を受け入れる雌に成り果てている

そしてついぞ彼女のもとに救助隊が到着することはなかった





















